

「春に三日の晴れ間なし」といいますが、ひと雨ごとに春の陽気が近づいているのを感じます。また、「三寒四温」ともいわれるように、寒さと暖かさが少しずつ入れ替わってきたようにも感じ、どこことなくウキウキとしてしまいます。春は、幸せな気分にしてくれる季節です。

3月に入りました。平成30年度もいよいよクライマックスを迎えます。この一年の取組をしっかりと振り返り、来る新元号のもとでの新学期を準備万端で迎えます。どうぞ、ご期待ください。では、「きらら」3月号をお届けいたします。ごゆっくりお楽しみください。



地域とともに、地域のために

今年も「うなまの地蔵さん」のお祭りが行われました。今年は、2月27日（水）から3月1日（金）までの平日開催となりました。県内外各地からたくさんの方の参拝者をお迎えしての一大行事です。

美郷北学園では、4年前の開校当初から「地域の役に立ちたい」という思いから、このお祭りに参加させていただいてきました。これまで、公衆トイレの掃除や会場周辺のゴミ拾い、休憩所でのお接待などに取り組んできました。今年も、5年生から9年生までがお茶とお菓子のお接待や地域活性化に向けたアンケート調査などに取り組みました。夏の「うなま地蔵夏祭り」について、2回目となる地域行事への参加です。基本的な考えには、お客様ではなく主催側としてかかわることを目指しています。地域の行事が、どんな人の努力によってどのような工夫がなされているのかを学ぶよい機会です。



空模様心配されましたが、予定を一部変更してなんとか実施できました。ご協力いただいた全長寺様、北郷地区商工会の皆様にご心より感謝申し上げます。

宇納間地蔵大祭

ホームページをご覧ください

<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/1665/htdocs>
または、美郷町立美郷北学園 で検索



先生たちもがんばりました

年度末は、この1年間の様々な取組を振り返り、その成果と次に向けての課題を確認する時期です。子どもたちについては、成績表や通知表などで確認しますが、先生たちにとっても1年間のまとめがなされます。

その一つが「教育研究論文」や学校ごとの「研究紀要」の作成です。学級や先生自身の課題に基づいて、仮説を立て綿密な計画のもと年間をとおして進められるこの研究は、「教えるプロ」としての先生方の使命でもあります。

今年、美郷町の教育研究論文に以下の先生方が応募され、それぞれ受賞されました。多用な業務の中、頭が下がります。入賞おめでとうございます。

◇ 奨励賞

「学校・家庭・地域の連携・協働体制を構築するために」(宮本一郎 教頭先生)

「地域の環境保全に関心を持ち、自然や郷土を大切にしようとする児童生徒の育成」
(岡崎裕也 教頭先生)

◇ 入選

「幼・小中一貫校における中期ブロックの在り方」(井上敬康 先生)

「豊かな国際感覚とふるさとを愛する心をもった児童生徒の育成」(米澤実花 先生)

また、すべての先生の研究を収録した「研究紀要」を作成しました。次年度に向けしっかりと課題を共有しておきたいと思っております。

行事予定 4月

8日(月)	新任式・始業式
11日(木)	入学式
12日(金)	入園式
20日(土)	参観日・PTA総会
22日(月)	家庭訪問～25日
26日(金)	歓迎集会

明日のチカラ

学べば学ぶほど、自分が何も知らなかったことに気づく。気づけば気づくほどまた学びたくなる。

アルバート・アインシュタイン
(独 物理学者)

1年間ありがとうございました

平成30年度が間もなく終わろうとしています。平成最後の年度を駆け抜けてきた一年間でした。「自主(みずから)・創造(うみだす)・協力(ささえあう)」を校訓(教師と子どもの合い言葉)に掲げ、「凡事徹底(当たり前前を当たり前前)」に取り組んでまいりました。少しずつではありますが、美郷北学園ならではの教育も実現できつつあります。保護者の皆様、地域の皆様には多大なご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。次年度も地域のための学校として邁進します。1年間ありがとうございました。

美郷北学園 校長 末廣恭雄